

## 令和3年度 統合マネジメントシステム(妙高市役所 地球温暖化対策実行計画(第3期))の取組結果

- 妙高市役所では、統合マネジメントシステムの「Ⅲ-10 環境面における行政サービスの運用管理」における「資源の消費」の取組の一つとして『妙高市役所地球温暖化対策実行計画』を推進し、温室効果ガスの排出削減に取り組んでいます。
- 令和3年度の各項目の取組結果(使用量等)は、次のとおりです。
- 令和3年度の温室効果ガス排出量(CO2換算)は「8,097.5t」であり、目標値との比較では84.6tの増加となっており、前年度の排出量(8,435.6t)との比較においては338.1t減少する結果となりました。
- 令和3年度の目標値を達成した項目は、「電気使用量」、「ガス使用量」、「水道使用量」、「可燃ごみ排出量」となりました。
- 令和2年度と比較すると、排雪作業の減(新井地区の降雪量は令和2年度と同程度)に伴う除雪車用軽油の減少、施設の休止に伴う灯油の減少、廃プラスチック焼却量の減少が主にCO2排出量の減少に寄与しています。
- 近年では、再生可能エネルギーの導入、電気自動車の普及、ICT化の進展に伴うペーパーレス化の推進等、エネルギー使用における大きな転換期を迎えようとしており、温室効果ガス排出量の削減に向けた抜本的な取組が世界的に活発となっていますので、これによって第4期計画(令和4～7年度)での職員一人一人の省エネ意識をさらに高め、引き続き、日頃から省エネ・省資源を意識し、温室効果ガス削減に向けた取組を実践します。

項目	目標値 (H25実績値の▲12.5%)	R3年度実績	増減量 (目標値比)	達成割合(%) (目標値比)	R2年度実績	増減量 (R2年度比)	増減比 (R2年度比)	特記事項
二酸化炭素排出量(t)	8,012.9	8,097.5	▲84.6	98.96%	8,435.6	▲338.1	▲4.01%	・目標値の達成はならなかったが(1.04%未達)、前年度比で4.01%減少した。 ・大きな要因として、排雪作業及び暖房に使用した軽油、灯油等の量が減少したこと、プラスチックごみの焼却量が減少したことが考えられる。
電気使用量(Kwh)	11,219,366	10,774,298	▲445,068	104.13%	10,738,212	▲36,086	▲0.34%	・目標値は達成したが、前年度に比べ0.34%の使用量が増加した。 ・市役所の電気使用量について、節電に対する意識醸成を日頃から行うことで、同規模・同機能施設との比較でもエネルギー消費量は約55%に抑制されており、環境負荷軽減が大きく図られている。 ・本庁舎は、事務室照明のLED化(管のみ)等の取組を行っているが、電子機器の増加や空調稼働の増等により、使用量が増加している。 ・全ての施設において、夏季の高温多湿や冬季の降雪等、気象条件により使用量が増減されるため、再生可能エネルギーの導入といった抜本的な対策に切り替える。
ガス使用量(m3) ※都市ガス、LPG	490,661	252,466	▲238,195	194.35%	253,656	▲1,190	▲0.47%	・目標値を達成し、前年度に比べ0.47%の使用量が減少した。 ・空調設備にガスを使用するものがあることから、夏季の高温多湿や冬季の降雪など、気象条件により使用量が大幅に増減する傾向があるとともに、新型コロナウイルス感染症対策としての換気作業が影響する(市役所庁舎での冷暖房熱源の一部に都市ガスを使用。R3年度は減少)。 ・施設の更新、改修による設備の電化に伴う使用量減や、カーボンニュートラルガスの導入も検討する必要がある。
庁用車等燃料使用量(ℓ) ※ガソリン、軽油	134,918	144,603	▲9,685	93.30%	149,874	▲5,271	▲3.52%	・目標値の達成はならなかったが(6.70%未達)、前年度比で3.52%減少した。 ・Web会議やオンライン研修が浸透したことによる公用車使用の減に伴い、ガソリン使用量が減少した。 ・ガソリンについては、電気自動車の普及動向を注視しながら導入台数を増やしていき、抜本的な削減を行う必要がある。 ・軽油使用量については、冬季の気温や降雪量が大きく影響している。新井地区におけるR3年度の降雪量はR2年度と同程度であったが、排雪作業の回数が少なかったため除雪車の稼働が減り、使用量の減少につながった。
水道使用量(m3)	110,167	77,407	▲32,760	142.32%	85,634	▲8,227	▲9.61%	・環境負荷軽減活動の推進による継続的な節水意識の向上、新型コロナウイルスによる公共施設の施設利用者減等の影響、公共施設の統廃合等の理由により、目標値比較で42.32%目標を上回った(前年度比▲9.61%)。 ・しかし、市役所本庁の目標達成率は59.3%であり、手洗いや、水質確保のための受水槽の水入替等、固定的な使用があることから削減が進まない状況。
可燃ごみ排出量(kg)	56,788	34,682	▲22,106	163.74%	38,305	▲3,623	▲9.46%	・分別意識の向上で排出量は安定的に削減が図られており、目標値比較で63.74%目標を上回り、前年度比で9.46%の減少となった。 ・小学校の統合や施設内の整理等も取り、学校施設等からの可燃ごみ排出量が減少したことが目標値を下回る要因の1つであるが、引き続き意識を高く持ちながら、月単位の管理を行う必要がある。
コピー使用枚数(枚) ※プリントアウトとコピーの合計	3,910,348	4,637,450	▲727,102	84.32%	4,661,563	▲24,113	▲0.52%	・目標値の達成はならなかったが(15.68%未達)、前年度比で0.52%減少した。 ・事業の増減や新たな取組がコピー使用枚数に大きく影響する。 ・市役所本庁、各支所においては会議資料等のペーパーレス化を推進する成果が表れ、コピー使用は減少傾向にある。 ・学校や園においては、年度ごとの運営方針によって配布物等が増減することに伴い、コピー使用枚数も併せて増減する(いずれもR2年度比で15%使用量が増加)。 ・特に園については、目標達成率が53.3%と抜本的な見直しが必要。
廃プラスチック焼却量(t)	—	181	—	—	266	▲85	▲31.95%	・R2年度は新型コロナウイルスの影響により世間的に在宅時間が増え、家庭内の清掃が促進されたことで廃プラスチックの焼却量が比較的多かったが、R3年度はその状況が落ち着き、量が減少したと考えられる。 ※市公共施設の「妙高クリーンセンター」における市内のごみ焼却量を、当計画で算出するCO2排出量に含める必要があることから計上するもの。

【対象施設】  
妙高市役所、妙高高原支所、妙高支所、市立学校、市立こども園、市立保育園、勤労者研修センター、新井南体育館、斐太歴史の里、コミュニティ防災センター、月岡防災ステーション  
あらい再資源センター、陣場霊園、ガス水道管理センター、ガス施設、水道施設、下水道施設、し尿処理施設、妙高クリーンセンター、経塚斎場、妙高高原最終処分場  
斐太歴史民俗資料館(農村環境改善センター)、ほっとランド